

輸血・細胞治療部紹介

輸血と自己血採取を安全で正確に提供

輸血・細胞治療部 部長 山之内 純

輸血・細胞治療部では、輸血に関する業務を一元管理しており、検査部門と治療部門に大きく分かれます。検査部門では臨床検査技師が、輸血検査と呼ばれる血液型検査や交差適合試験と、輸血製剤の管理・供給を行っています。治療部門では、移植や手術に必要な末梢血幹細胞や自己血を採取する業務と、各診療科の医師からの輸血コンサルタント業務を行います。輸血というと簡単なことのように聞こえますが、血液は臓器の一種であり「輸血とは一つの移植」です。当院では年間5,000件の輸血オーダーに加え、年間300件の自己血採取と20件の末梢血幹細胞採取を行っています。多くの輸血業務を担当するため、臨床検査技師の業務量は増加しています。どの業務にも正確さとスピードが求められるので、ヒューマンエラーを防ぐ仕組みを構築し更新するのは私の役割の1つです。

輸血の副作用を防ぐ手段としては自己血採取という方法があります。手術前に自分の血液を採取保存し、手術の際に使用します。採取した血液は約1カ月ほど保存できます。自己血採取には年齢制限がなく安全性も高い方法であることを知ってほしいです。



PROFILE

やまのうちじゅん ©1995年愛媛大学医学部卒業後、第一内科に入局。2003年大学院卒業後、アメリカ合衆国スクリプス研究所とカリフォルニア大学サンディエゴ校で研究に従事。2019年10月から現職。専門は血液内科学、血栓止血学。趣味はスポーツ観戦。